



testo 105
食品温度計

取扱説明書

1. はじめに

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取扱方法をご理解ください。この説明書は、いつでも、すぐに見ることができるようお手元に置いてお使いください。



2. 各部の名称



testo105取扱説明書 0973.1050J (06.2004)

5. テクニカル・データ

項目	機能
計測範囲	-50~+275°C
分解能	0.1°C
精度	±0.5°C (-20~+100°C) ±1°C (-50~-20.1°C) 計測値の±1% (+100.1~+275°C)
応答速度t99*	ショート/ロング・プローブ:10秒 冷凍食品用プローブ:15秒(冷凍肉の場合は約60秒)
計測速度	2計測/秒
稼働温度	-20~+50°C
輸送/保管温度	-40~+70°C
電源	4 x LR44アルカリ・ボタン電池
バッテリー寿命	80時間(標準)
ハウジング	ABS
保護クラス	IP65(接続プローブを含む)
外形寸法	145 x 95 x 38mm
CEガイドライン	89/336/EECに適合
保証	1年間

* 流動液体中で計測

規格に関して

この製品はEN13485規格のガイドラインに適合しています。
適合性: S、T(保管、輸送)、E(ポータブル温度計)、
精度クラス:0.5、計測範囲:-50~+275°C

EN13485によれば、計測器はEN13486の期間で、定期的に検査、校正を行うよう規定されています。(推奨:年一度)

* EN13485:医療機器の設計・開発、製造、販売などにおける品質マネジメント規格。

3. 安全上のご注意

次の安全上の注意をよくお読みください。

⚠ 感電の回避:

▶ 通電部品の上あるいは側で計測を絶対に行わないでください。

⚠ 安全な取り扱い/保証条件の遵守:

- ▶ テクニカル・データに記載されている限度内の計測にご使用ください。無理な力を加えないでください。
- ▶ 溶剤(例えば、アセトンなど)と一緒に保管しないでください。
- ▶ 取扱説明書に記載されているメンテナンスのため以外、計測器を開いたり、分解しないでください。

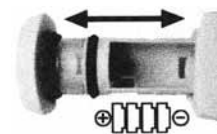
♻ 処分:

- ▶ 使用済みのバッテリー(電池)は有害廃棄物として処分してください。
- ▶ 不要になった計測器は当社にお返してください。責任を持って処分します。

4. 機能概要

testo105は、半固形物の中心温度計測に適した、頑丈な食品用温度計です。接続プローブを取り替えることにより、調理、冷凍、業務用キッチン、スーパーマーケット、入荷食材検査、HACCPなど、さまざまな分野で使用可能です。

6. 初期操作



- 1 バッテリー・ボックスを引き出します。
- 2 バッテリー(4 x LR44ボタン電池)を挿入します。極性(+/-)にご注意ください。
- 3 バッテリー・ボックスを閉めます。

7. 操作

サウンド機能をオンに設定していると、 (電源/ホールド) ボタンを押す度に、またアラーム値を超える度にブザーが鳴ります。

ライト機能をオンに設定していると、いづれかの操作ボタンが押されるか、アラーム値を超えると、ディスプレイのバックライトが5秒間点灯します。

電源自動オフ機能をオンに設定していると、操作ボタンが何も押されない状態が10分間続いたとき、温度計の電源が自動的に切れます。

自動ホールド機能をオンに設定していると、「AUTO HOLD」の文字が点滅します。設定した監視時間内の計測値変化が0.2°C以内になると、計測値が固定表示され、「AUTO HOLD」の文字は点灯状態になります。

▶ 自動ホールド計測の再スタート:「AUTO HOLD」の文字が点灯している時に ボタンを押します。

7.1 電源オン/オフ

- ▶ ボタンを押して電源を入れます。
- ▶ ボタンを押し続けると、電源が切れます。

7.2 計測

❗ 突き刺し型プローブによる計測では、プローブ先端を十分な深さまで差し込まないと、正しい計測ができません。
ショート/ロング・プローブ:35mm以上、冷凍食品用プローブ:50mm以上

温度計の電源を入れます。

- ▶ 計測対象物にプローブ先端を差し込みます。
- 計測値がディスプレイに表示されます。
- ▶ 必要に応じて、自動ホールド機能(AUTO HOLD)のオン、オフを変更してください。(「8. 温度計の設定」を参照)

マニュアルによる計測値のホールド

- ▶ ボタンを押します。
- 計測値がホールドされ、「HOLD」の文字が点灯します。
- ▶ 再度、 ボタンを押すと、計測が再スタートします。

アラーム値を超過

- 「 ALARM」(アラーム上限値超過)または「 ALARM」(アラーム下限値超過)が点灯します。

7.3 アラーム限界値の設定

温度計の電源を入れます。

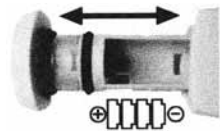
- 1 (アラーム値表示・設定)ボタンを押して、アラーム上限設定モードにします。 (アラーム上限マーク)と現在の設定値が表示されます。
-または-
 (アラーム値表示・設定)ボタンを押して、アラーム下限設定モードにします。 (アラーム下限マーク)と現在の設定値が表示されます。
- 2 または ボタンを押して、アラーム値を設定します。ボタンを押し続けると、数字の変化が早くなります。
- 3 ボタンを押して、計測に戻ります。
▶ 必要に応じて、上記の手順を繰り返し、上下のアラーム限界値を設定します。

8. 温度計の設定

温度計の電源を一度切ります。

- 1 ボタンを押し続けて、設定モードにします。
- 2 温度単位(°Cまたは°F)が点灯します。 ボタンを押して、希望の温度単位(°Cまたは°F)を選択します。 ボタンを押して確定します。

9.2 バッテリーの交換



- 1 バッテリーボックスを引き出します。
- 2 空のバッテリーを取り出し、新しいバッテリー(4 x LR44ボタン電池)を挿入します。
バッテリーの極性(+/-)にご注意ください。
- 3 バッテリーボックスを閉めます。

9.3 温度計のクリーニング

研磨剤の入った洗剤等は使用しないでください。

- ▶ 石鹸水などで濡らせた布で、ハウジングやプローブを軽く拭いてください。

10. トラブルシューティング

エラー状態	考えられる原因	対策
が点灯	バッテリーが空です。	▶ バッテリーを交換してください。
--- が点灯	計測範囲を超えています。	▶ 計測範囲内で計測してください。
温度計の電源が入らない。	バッテリーが空です。	▶ バッテリーを交換してください。
温度計の電源が切れてしまう。	自動電源オフ機能がオンになっています。	▶ 自動電源オフ機能をオフに切り替えてください。(温度計の設定を参照)

ここに記述されていない問題が発生した場合は、テストー社のカスタマー・サービス部門へご連絡ください。

- 3 「AUTO HOLD」と「」(または「」)が点灯します。 ボタンを押して、自動ホールド機能のオン()、オフ()を切り替えます。
 ボタンを押して、確定します。
自動ホールドをオンにした場合は、数字が表示されます。
▶ 計測値のホールドを行うに当たり、計測値が安定した(0.2°C以内の変化)状態であると判断する経過時間(5、10、15、20秒)を ボタンで設定し、 ボタンを押して、確定します。

- 4 「」(または「」)の文字の下に マークが表示されます。
 ボタンを押して、サウンド機能のオン()、オフ()を切り替えます。 ボタンを押して、確定します。

- 5 「」(または「」)の文字の下に マークが表示されます。
 ボタンを押して、ライト機能のオン()、オフ()を切り替えます。 ボタンを押して、確定します。

- 6 「AUTO OFF」と「」(または「」)が点灯します。 ボタンを押して、電源自動オフ機能のオン()、オフ()を切り替えます。
 ボタンを押して、確定します。

- これで温度計の設定は完了です。温度計は計測モードになります。

9. メンテナンス

9.1 プローブの交換

温度計の電源を切ります。

- 1 取付けリングを反時計まわりに回して外し、プローブを引き抜きます。
- 2 新しいプローブを差し込み、取付けリングを時計まわりに回して締めます。



11. アクセサリー

製品名	製品型番
ショート・プローブ(プローブ長:100mm)	0613 1051
ロング・プローブ(プローブ長:200mm)	0613 1053
冷凍食品用プローブ(プローブ長:95mm)	0613 1052
testo105食品温度計 (ショート・プローブ、ベルト・ホルダー付き)	0563 1051
testo105食品温度計セット (プローブ3種:ショート/ロング/冷凍食品用、 ベルト・ホルダー、アルミ・ケース)	0563 1052
testo105専用アルミ・ケース	0554 1051



株式会社 テストー

本社営業部：〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-2-15 バレアナビル7F
TEL. 045-476-2288 FAX. 045-476-2277
大阪営業所：〒530-0055 大阪市北区野崎町7-8 梅田パークビル 9F
TEL. 06-6314-3180 FAX. 06-6314-3187

ホームページ: <http://www.testo.jp>
e-mail: info@testo.co.jp